



子どもの健康・生活実態調査

平成27年度 報告書

平成28年4月

足立区・足立区教育委員会

国立成育医療研究センター研究所 社会医学研究部



足立区



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development

目 次

第1章 調査の概要	1
1 報告書について	2
2 調査の背景	2
3 調査の目的	2
4 調査の時期	3
5 実施方法	3
6 調査対象者	3
7 回答者の構成	3
第2章 主な調査結果	5
1 世帯状況について	8
2 子どもの健康について	10
3 子どもの生活について	13
4 子どもの食生活について	15
5 子どものこころについて	17
6 保護者の健康・生活について	18
7 世帯の就業と経済状況について	21
8 保護者の子どもへの関わりについて	24
9 保護者と地域とのつながりについて	26
第3章 子どもの健康・生活と「生活困難」についての詳しい分析	29
1 「生活困難」の定義	30
2 子どもの健康・生活 と「生活困難」との関連	32
3 子どもの健康、「生活困難」、相談相手の有無との関連	35
4 子どもの健康状態と「生活困難」についての詳しい分析（媒介分析）	38
5 考察	40
6 調査を終えて	41
【資料】 使用した調査票及び集計結果	43

第 1 章 調査の概要

1 報告書について

この報告書は、平成27年度に実施した「子どもの健康・生活実態調査」をまとめたものです。調査の集計結果とあわせて、子どもの健康や生活の実態と「生活困難」(※)の関連について分析を行い、その結果を記載しています。

※ 「生活困難」の定義については、P30を参照。

2 調査の背景

足立区には、区民の健康寿命が都の平均よりも約2歳短いという健康格差があります。その主な要因は糖尿病です。そこで、区民の健康寿命の延伸に向けて、「足立区糖尿病対策アクションプラン」を策定し、糖尿病に重点を置いた取組みを展開しています。糖尿病をはじめとする生活習慣病予防には、子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることが効果的です。しかしながら、当区の現状は高学年になるにつれて肥満傾向児の割合が高くなり、むし菌のある子どもの割合も23区内で最下位の水準です。むし菌や歯の喪失は、よく噛まずに食べることにつながり、肥満や将来の生活習慣病の原因にもなります。

一方で、平成26年7月に厚生労働省がまとめた国民生活基礎調査によると、現在6人に1人の子どもが貧困状態にあると報告されています。これを受け、区では平成27年度を「子どもの貧困対策元年」と位置づけ、「足立区子どもの貧困対策実施計画 ～未来へつなぐ あだちプロジェクト～」を策定し、全庁をあげた取組みを開始しました。全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の将来に夢や希望が持てる地域社会の実現を目指しています。

健康は子どもたちの夢や希望を叶えるための大切な土台です。しかし、これまでの研究から、貧困は子どもたちの健康に悪影響を与えていると言われています。区としては、世帯の経済状況を即座に変えることが出来なくても、その影響を軽減し、子どもの健康を守り育てることが貧困の連鎖を断つ第一歩と考えます。そのためには、まず、できる限り正確に子どもの健康と生活の実態を把握したうえで、健康格差対策を講ずることが重要と考え、「子どもの健康・生活実態調査」を実施しました。

3 調査の目的

本調査は、①子どもの健康と生活の実態を把握すること、②子どもの健康が家庭環境や生活習慣からどのような影響を受けているかを明らかにすること、③子どもの健康と世帯の経済状態にどのような関連があるか(媒介要因)を明らかにすること、以上3点を目的としています。今後も定期的に調査を行い、本調査で得られた結果とあわせて、区が実施する事業の効果等をより詳細に分析し、子どもたちの未来につながる実効性ある施策を展開していきます。

4 調査の時期

先行調査の実施（ 6 校）	平成27年 7 月
本格調査の実施（63校）	平成27年11月

5 実施方法

足立区と国立成育医療研究センター研究所 社会医学研究部が協働で調査を行いました。調査は無記名アンケート方式により、区立小学校に在籍する全小学1年生を対象に、区が学校を通じて質問票や回答票等の配付・回収を行い、国立成育医療研究センターが結果の集計・分析を実施しました。7月に6校で先行調査を行い、実施上の課題を検証したうえで、11月に残る63校で本格実施しました。

6 調査対象者

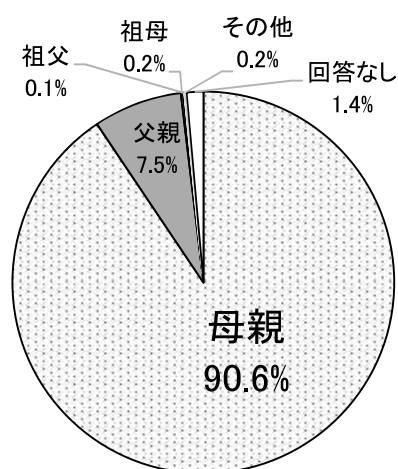
平成27年4月に区立小学校へ入学を予定していた児童から、実際には入学しなかった者、入学後に転出した者、長期欠席者を除き、1学期に実施した学校健診対象者5,355人に質問票を配付しました。

4,467人から回答票を回収し、このうち調査への同意が得られなかった者と回答票が白紙であった者を除いた4,291人（有効回答率80.1%）を本報告書の分析対象者としています。

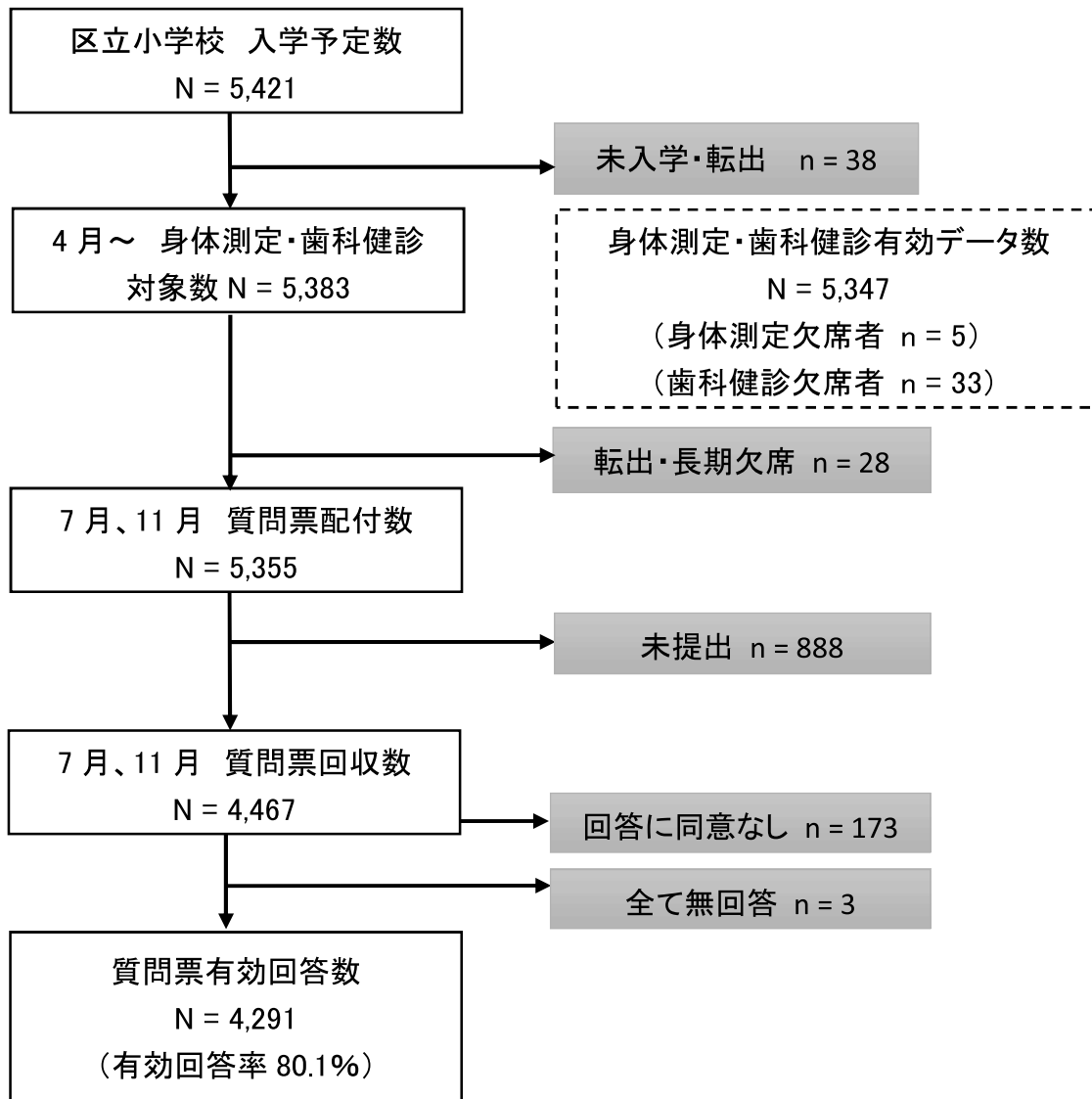
※ 対象者フローチャートは、P4を参照。

7 回答者の構成

回答者の約90%は、子どもの母親です。



●平成27年度 子どもの健康・生活実態調査 対象者フローチャート



第2章 主な調査結果

主な設問体系と調査結果の概要

1 世帯状況について

P 8

- ・ 父母が同居している世帯は、90% . . . P 8
- ・ 世帯の年収は、全体の約11%が300万円未満 . . . P 9

2 子どもの健康について

P 10

- ・ 肥満傾向の子どもは、東京都・全国平均よりやや高い割合 . . . P 10
- ・ 麻しん・風しん混合ワクチン（自己負担なし）を受けていない
子どもは、約9% . . . P 11
- ・ むし歯が1本でもある子どもは、38% . . . P 11

3 子どもの生活について

P 13

- ・ 平日、夜10時以降に寝ている子どもは、約13% . . . P 13
- ・ 1週間のうち、ほとんど・全く運動しない子どもは、10%
（学校での運動を除く） . . . P 13
- ・ 平日に3時間以上テレビや動画を見る子どもは、約12% . . . P 13
- ・ 放課後、週1回以上子どもだけで留守番をしている世帯は、約10%
. . . P 14
- ・ 最近1ヶ月で1冊も本を読んでいない子どもは約9%、
4冊以上読んだ子どもは約58% . . . P 14

4 子どもの食生活について

P 15

- ・ 朝食を毎日食べる習慣のない子どもは、約6% . . . P 15
- ・ 夕食をひとりで、または子どもだけで食べる世帯は、約4% . . . P 15
- ・ 目玉焼き程度の子どもへの食事づくりが毎日ではない
世帯は、約18% . . . P 16

5 子どものころについて

P 17

- ・ 子どもの逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など）の
回答合計点分布 . . . P 17

6 保護者の健康・生活について

P 18

- ・喫煙習慣がある母親は約 1 6 %、父親は4 3 % . . . P 18
- ・肥満及び肥満傾向の父親は、約 2 7 % . . . P 19
- ・過去 1 ヶ月で 1 冊も本を読んでいない父母は、約 5 0 % . . . P 20
- ・抑うつ傾向の可能性がある保護者は、約 2 8 % . . . P 20
- ・幸福度 1 0 点満点中 8 点以上の保護者は、約 6 5 % . . . P 20

7 世帯の就業と経済状況について

P 21

- ・子どものための生活必需品が不足している世帯は、約 1 6 % . . . P 21
- ・経済的理由で水道やガスなどの支払いができなかった世帯は、約 9 % . . . P 21
- ・パート、アルバイト、非正規で働く父親は、約 3 % . . . P 22

8 保護者の子どもへの関わりについて

P 24

- ・毎日子どもの勉強を見る保護者は、約 8 0 % . . . P 24
- ・毎日子どもと体を動かして遊ぶ保護者は約 7 %、
めったに子どもと体を動かして遊ばない保護者は約 1 4 % . . . P 24
- ・夜間子どもだけ残して外出することがある保護者は、約 3 % . . . P 25

9 保護者と地域とのつながりについて

P 26

- ・地域の人々を信頼している保護者は、約 5 3 % . . . P 26
- ・本当に困ったときや悩みのあるときに相談できる人がいない
保護者は、約 6 % . . . P 26

1 世帯状況について

① 子どもの性別 【問1】

男女の割合は、約半々です。

② 世帯・婚姻状況 【問3】

父母が同居している世帯は、90%です。

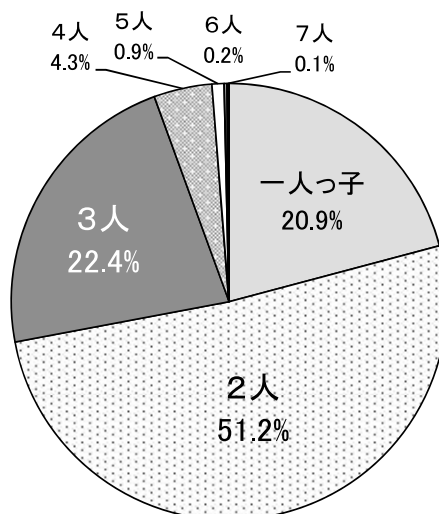
● 世帯状況別の世帯数及び割合

	世帯数	割合(%)
父母が同居している世帯	3,862	90.0
母子世帯	387	9.0
父子世帯	27	0.6
父母どちらとも同居していない世帯	12	0.3
その他・不明	3	0.1

※全国の児童のいる世帯のうち、ひとり親と未婚の子のみの世帯の割合 7.4% [出典：平成26年度国民生活基礎調査]

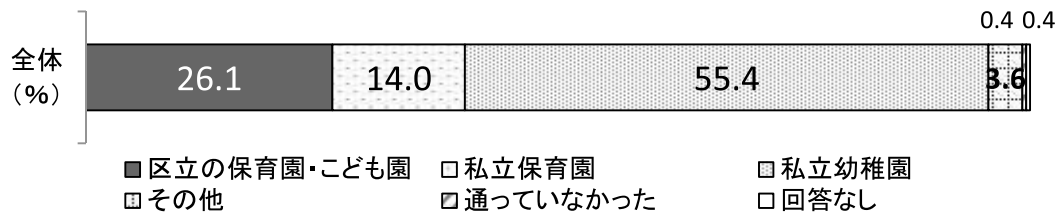
③ きょうだい数【問3】

一人っ子の割合は、約20%です。



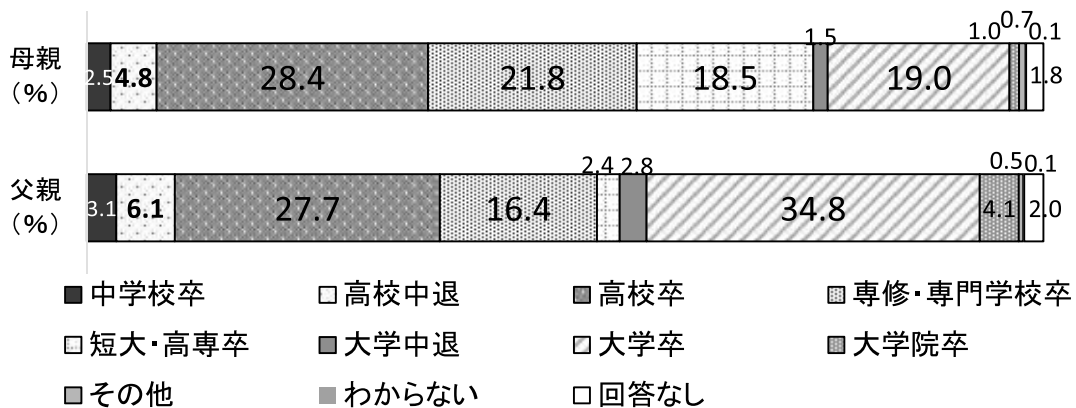
④ 小学校入学前の施設状況 【問4】

入学前に通っていた施設は、私立幼稚園が約55%で、区立保育園・こども園は約26%です。



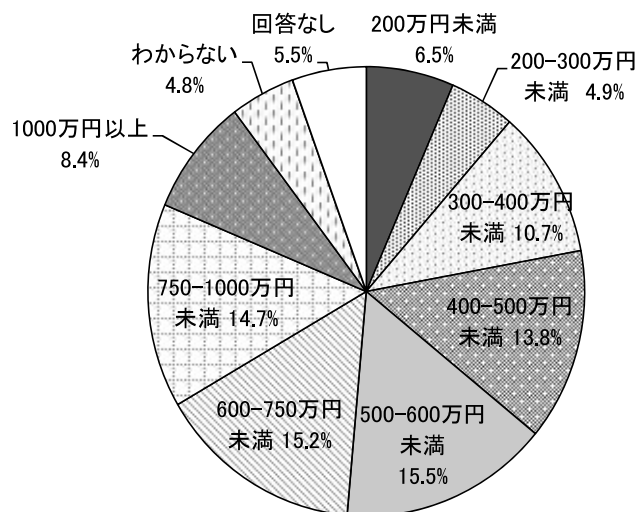
⑤ 父母の学歴 [本格調査のみ] 【問12】

母親の学歴は高校卒業が約28%、大学卒業が約19%です。父親の学歴は高校卒業が約28%、大学卒業が約35%です。



⑥ 世帯の経済状況 【問13(1)】

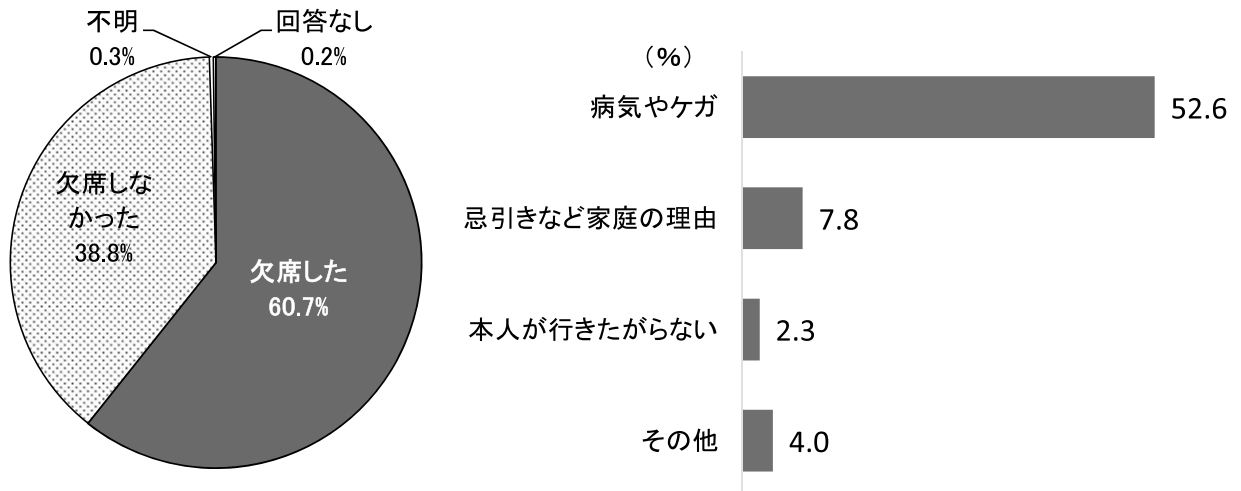
世帯全員の税込み収入（年収）は、500～600万円未満が最も多く約16%で、次いで600～750万円未満が約15%です。また、約11%が300万円未満です。



2 子どもの健康について

① 入学後の欠席状況 【問6(1)】

小学校入学後に欠席を経験した子どもは約61%です。
主な欠席理由は、病気やケガです。



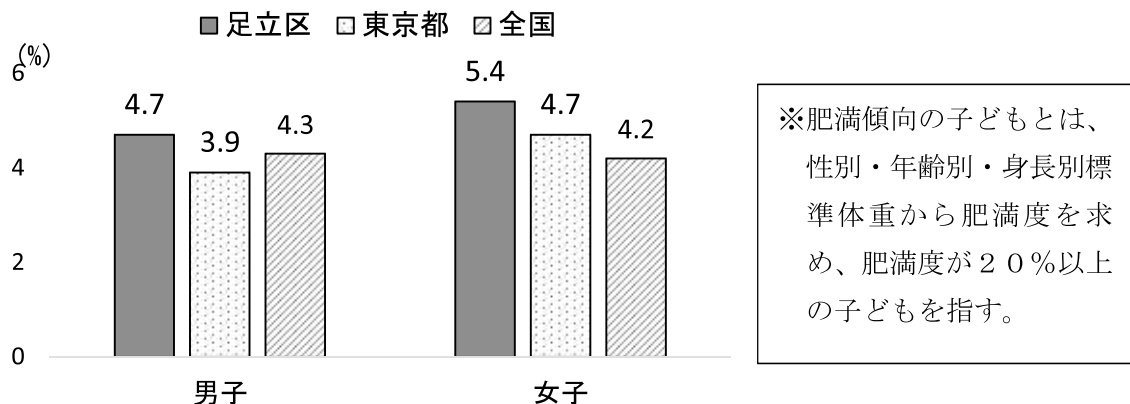
② 健康診断結果（身長及び体重）

	身長 (c m)	体重 (k g)
男児	116.8 [117.0]	21.6 [21.6]
女児	115.9 [115.7]	21.1 [20.8]

※ []内の数字は、平成26年度6歳児東京都平均の身長及び体重
(出典：東京都の学校保健統計書)

③ 肥満傾向（肥満度）

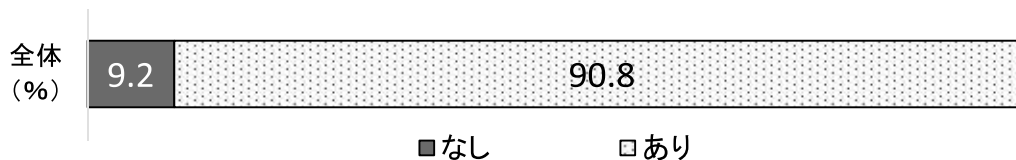
肥満傾向の子どもの割合は、男女とも東京都・全国平均よりやや高い水準です。



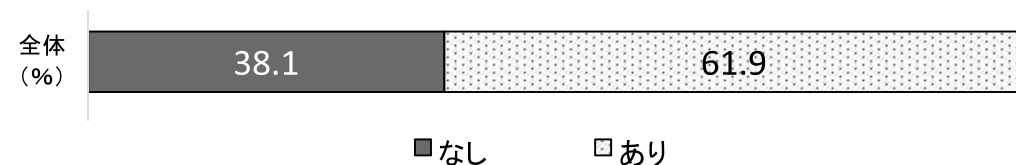
④ ワクチン接種状況 【問7(3)】

麻しん・風しん混合ワクチンの接種（自己負担なし）を受けていない子どもが約9%、インフルエンザワクチン接種（自己負担あり）を受けていない子どもが約38%います。

【麻しん・風しん混合ワクチン（自己負担なし）の接種状況】

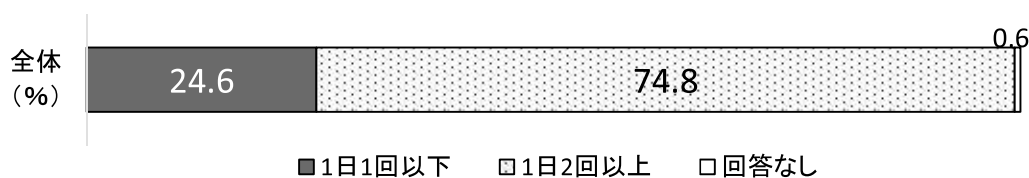


【インフルエンザワクチン（自己負担あり）の接種状況】



⑤ 歯みがきの頻度 【問8(1)】

歯みがきが1日1回以下の子どもの割合は約25%です。



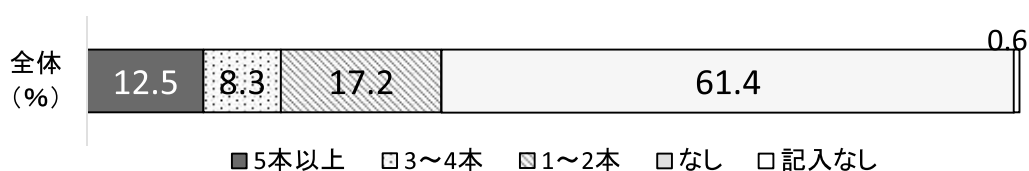
⑥ 子どもの歯の仕上げみがき習慣 【問8(2)】

親が子どもの歯の仕上げみがきをしない世帯は約15%です。



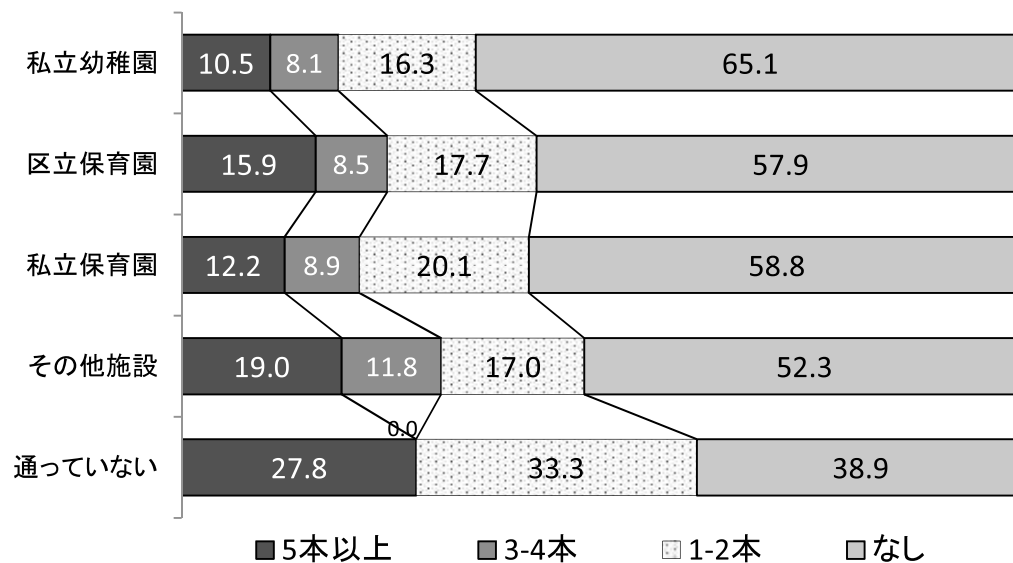
⑦ 子どものむし歯の状況 むし歯の本数(乳歯及び永久歯) 【歯科健診結果より】

歯科健診の結果では、むし歯が1本でもある子どもは38%です。



● むし歯の本数と就学前施設

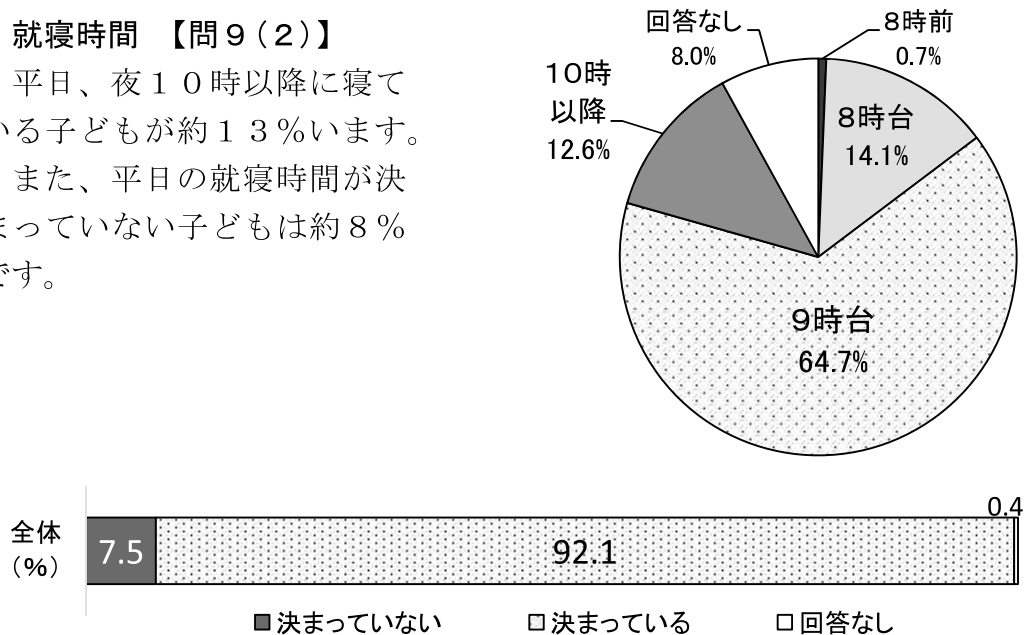
就学前に通っていた施設によって、むし歯が5本以上ある児童の割合に差が見られます。



3 子どもの生活について

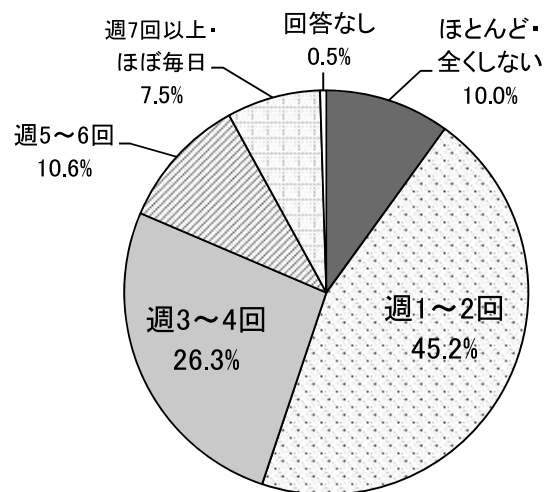
① 就寝時間 【問9(2)】

平日、夜10時以降に寝ている子どもが約13%います。
また、平日の就寝時間が決まっていない子どもは約8%です。



② 運動習慣 【問9(3)】

1週間に学校以外で運動をしない子どもは10%です。



③ テレビ・動画の視聴時間 【問9(5)】

平日に3時間以上テレビや動画を見る子どもは約12%です。



④ コンピュータゲームで遊ぶ時間 【問9(5)】

平日に1時間以上コンピュータゲームをする子どもは約21%です。



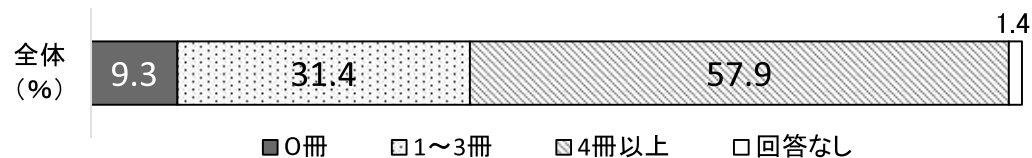
⑤ 留守番の頻度 【問9(4)】

平日の放課後に週1回以上子どもだけで留守番をする世帯は約10%です。



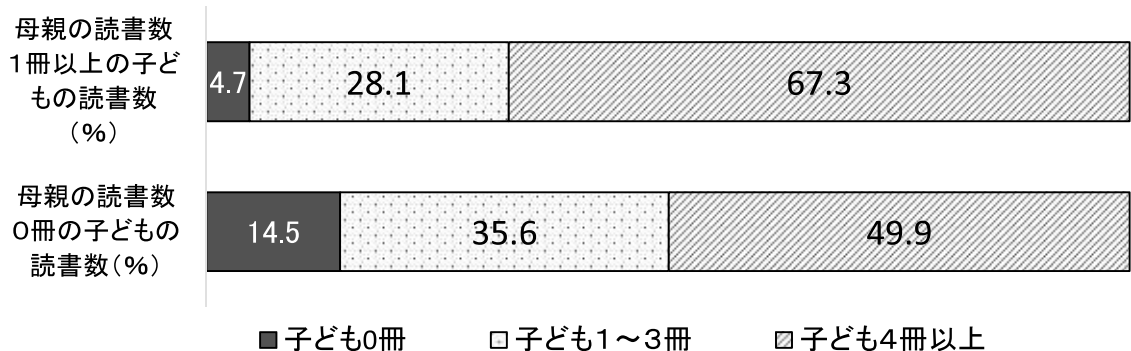
⑥ 子どもの読書数 【問9(6)(ア)】

最近1か月で全く読書をしていない子どもは約9%です。



● 子どもの読書数と母親の読書数の関係

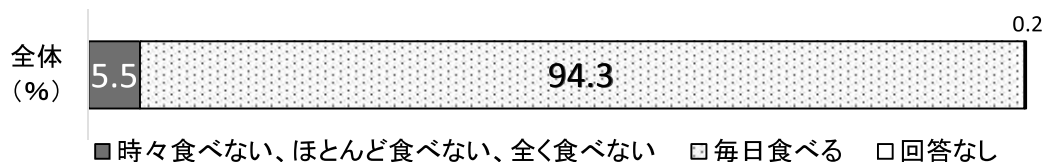
母親が本を読まない世帯は、子どもも本を読まない傾向にあります。



4 子どもの食生活について

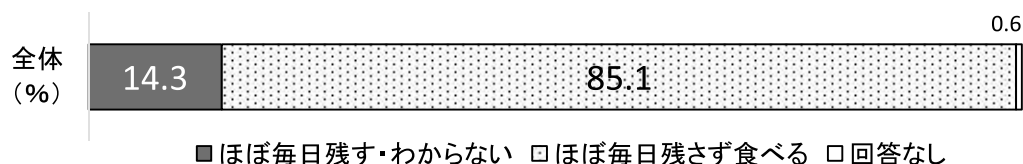
① 朝食の摂取状況 【問5(1)】

朝食を毎日食べる習慣のない子どもは約6%です。



② 給食の摂取状況 【問5(2)】

給食を残さず食べる子どもは約85%です。



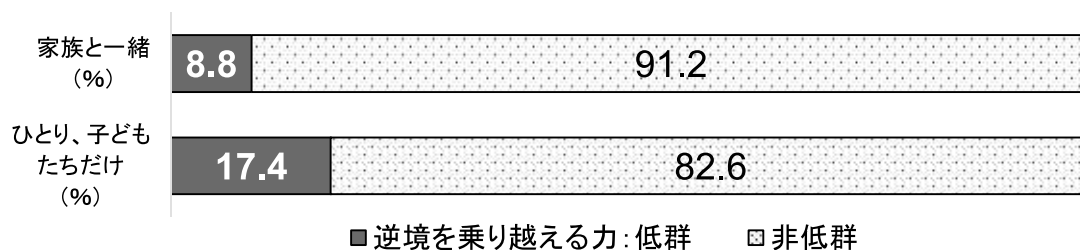
③ 夕食の摂取状況 【問5(3)】

夕食をひとりで、または子どもたちだけで食べる世帯は約4%です。



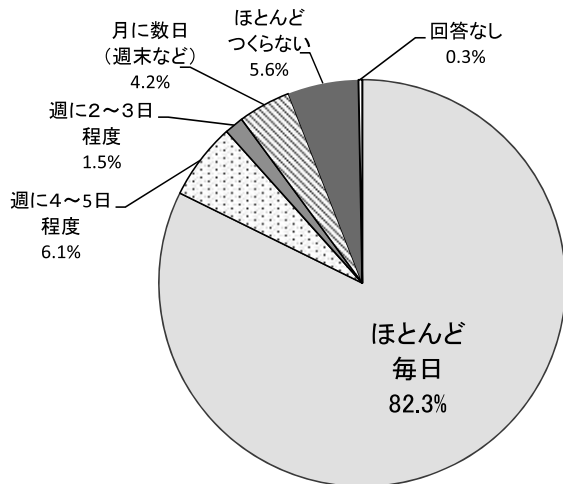
● 夕食の摂取状況と逆境を乗り越える力(自己肯定感、自己制御能力など)

夕食を家族と一緒に食べる世帯では、逆境を乗り越える力が低い子どもが約9%です。



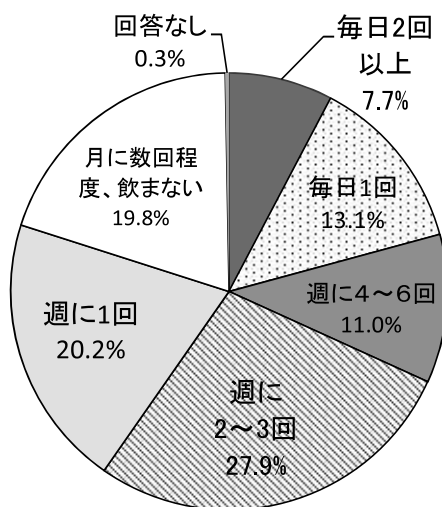
④ 自宅での調理頻度 【問5(4)】

目玉焼き程度の子どもへの食事づくりが毎日ではない世帯は約18%です。



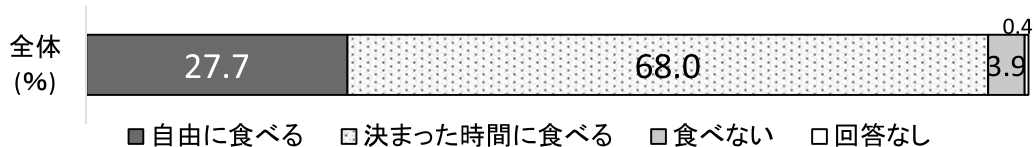
⑤ 砂糖入りジュースの摂取頻度【本格調査のみ】 【問5(7)】

砂糖入りジュースを毎日1回以上飲む子どもは約21%です。



⑥ お菓子の摂取状況【本格調査のみ】 【問5(8)】

お菓子を決まった時間ではなく自由に食べる子どもは約28%です。



5 子どものころについて

① 逆境を乗り越える力（自己肯定感、自己制御能力など） 【問10】

逆境を乗り越える力を測る質問紙（The Devereux Student Strengths Assessment、以下 DESSA）より抜粋した8項目における合計点の分布は、以下の図のようになりました。点数が高い方が逆境を乗り越える力が低いことを意味します。

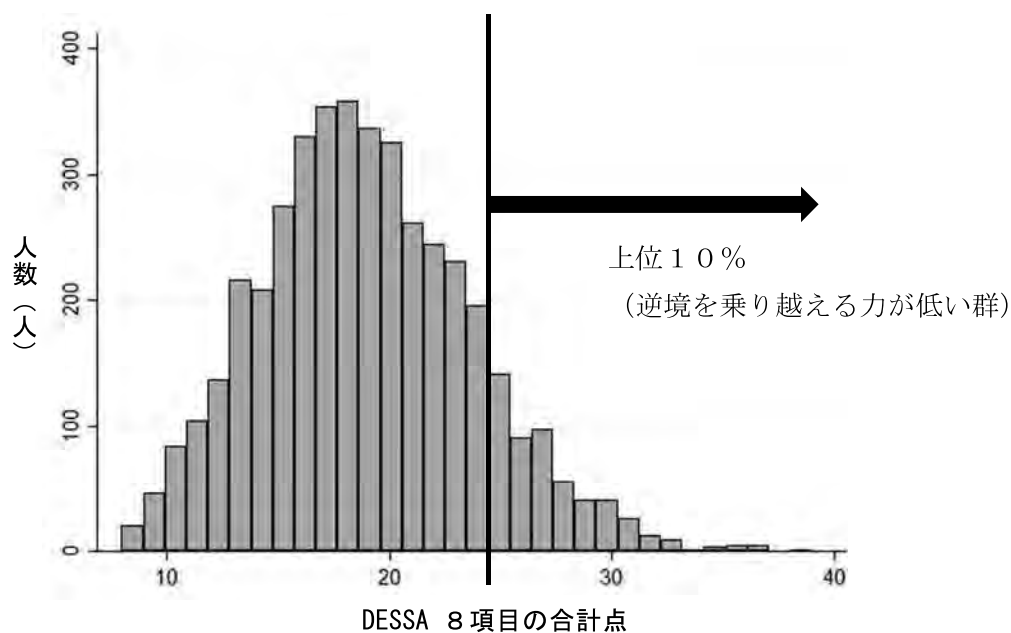
本調査では、逆境を乗り越える力が低い群について詳しい分析を行っています。

参照：P 15 夕食の摂取状況と逆境を乗り越える力

P 32 子どもの健康・生活と「生活困難」との関連
（逆境を乗り越える力）

P 37 子どもの健康、「生活困難」、相談相手の有無との関連
（4）逆境を乗り越える力

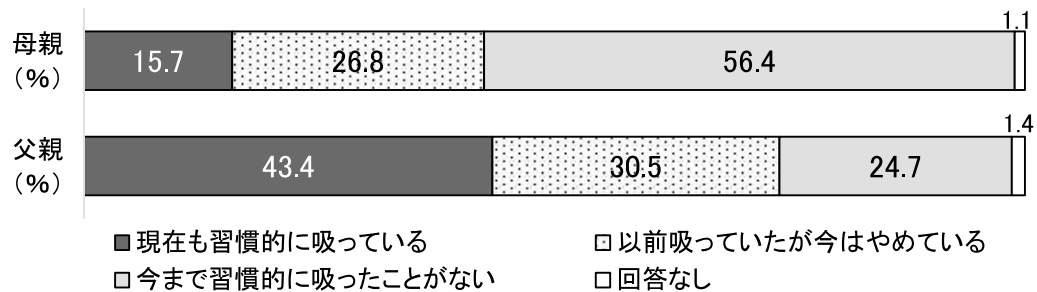
P 39 逆境を乗り越える力の低さ



6 保護者の健康・生活について

① 喫煙習慣【問11(2)】

現在喫煙している母親は約16%、父親は約43%です。



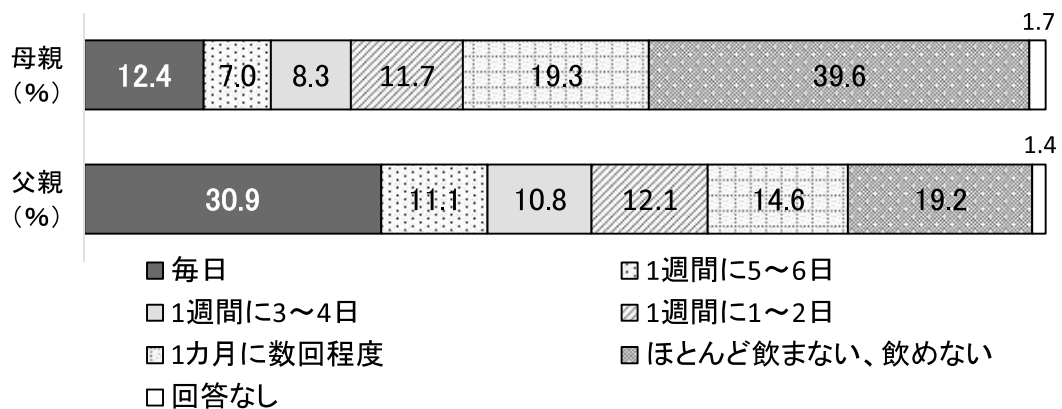
※現在習慣的に喫煙している者

30歳代女性14.3% 40歳代男性44.2%

[出典：平成26年度国民健康・栄養調査より]

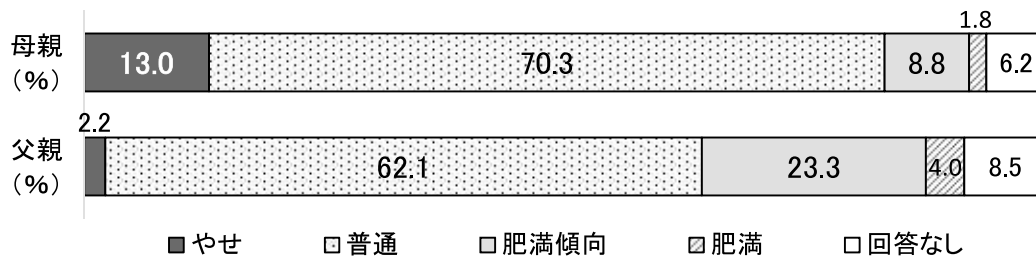
② 飲酒習慣【問11(3)】

毎日飲酒をする母親は約12%、父親は約31%です。



③ 父母の体格（BMI〔体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）〕）【問11(1)】

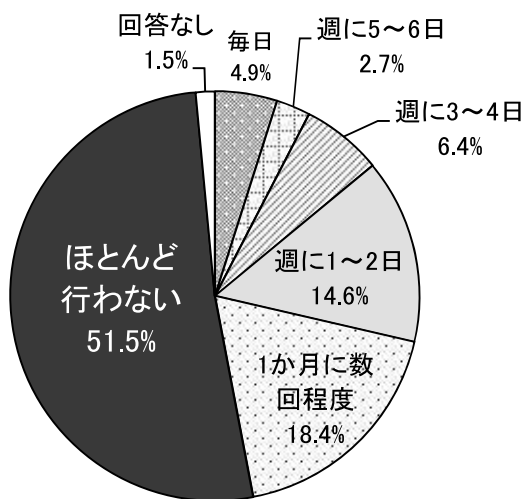
肥満及び肥満傾向の母親は約11%、やせに分類される母親は13%です。肥満及び肥満傾向の父親は約27%です。 ※BMI=Body Mass Index



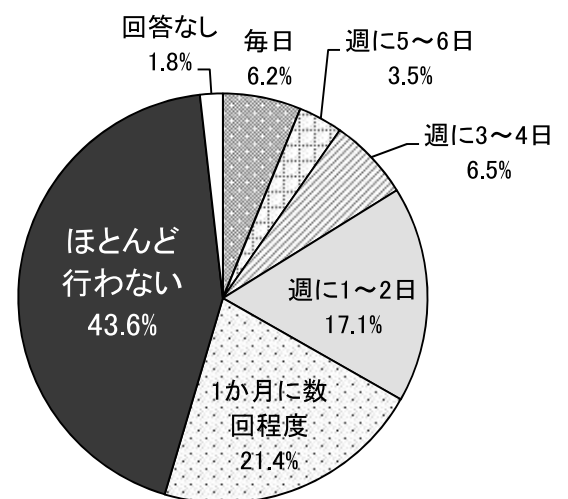
④ 運動習慣【問11(4)】

運動習慣がない母親は約52%、父親は約44%です。

母親



父親



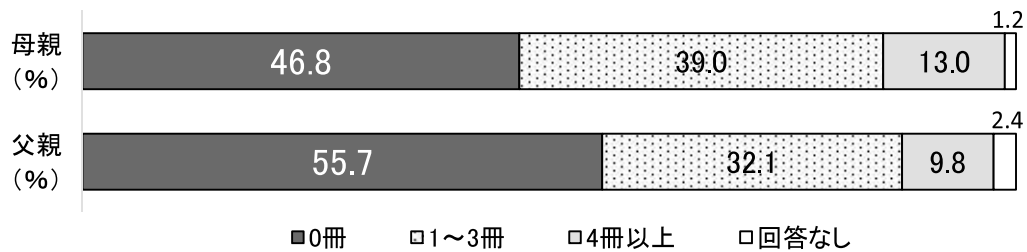
※運動習慣がない

女性47.5% 男性37.5%

[出典：2010年まちと家族の健康調査]

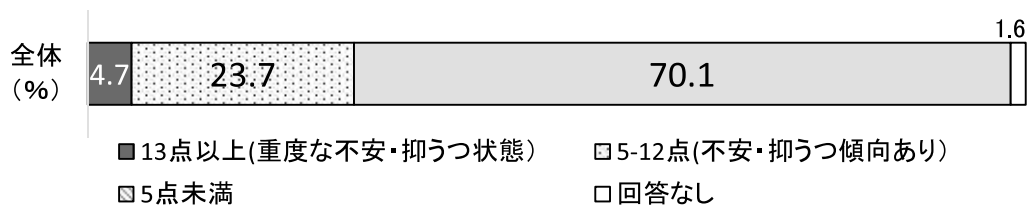
⑤ 父母の読書数 【問9(6)(イ)(ウ)】

最近過去1か月で1冊も本を読んでいない父母は約50%です。



⑥ 抑うつ傾向 【問16(4)】

抑うつ傾向を測る6つの質問（K6 - 心のチェック表）において、抑うつ傾向があると考えられる合計点数5点以上の保護者は約28%です。



※抑うつ傾向

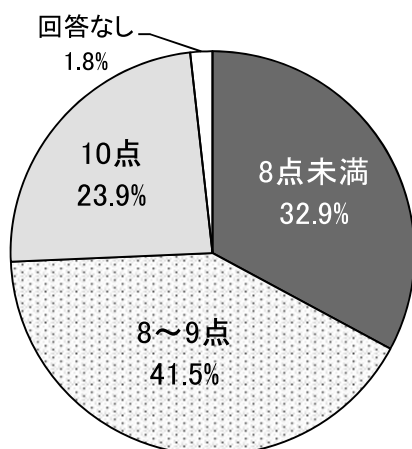
5点以上（不安抑うつ傾向あり）の割合

20代 32.6% 30代 31.6% 40代 32.1%

[出典：平成25年度「国民生活基礎調査」(厚生労働省)]

⑦ 幸福度 【問16(2)】

幸福度10点満点中8点以上（幸福度が高い）の保護者は約65%です。



※平均点：8点

※幸福度（0から10点）の平均値

6.68点（4,058人）

男女別・年齢別：30代女性 7.02点

男性 6.63点

40代女性 6.67点

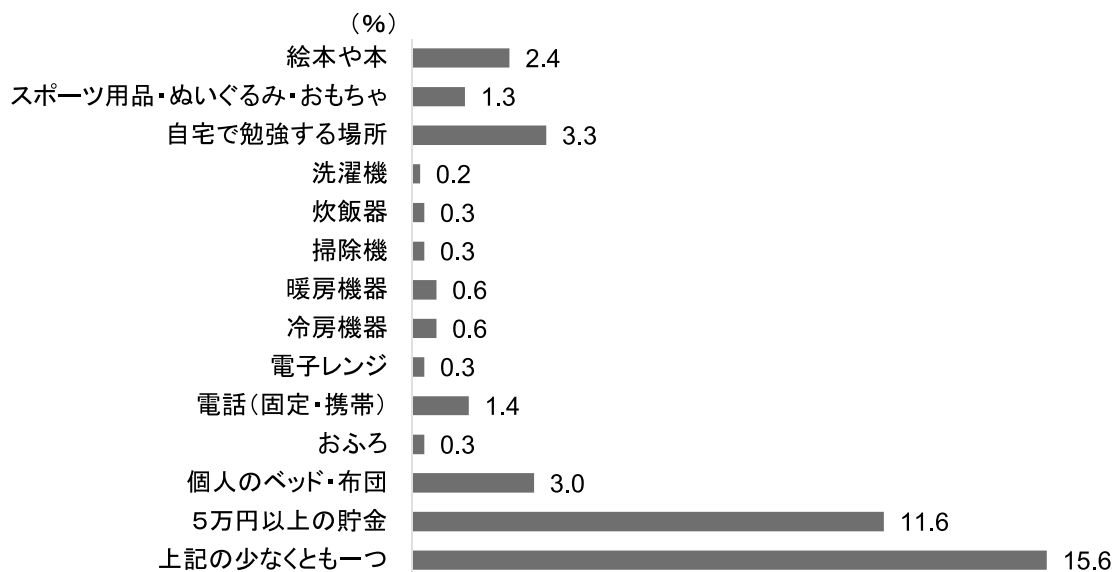
男性 6.65点

[出典：平成25年度「生活の質に関する調査」(内閣府)]

7 世帯の就業と経済状況について

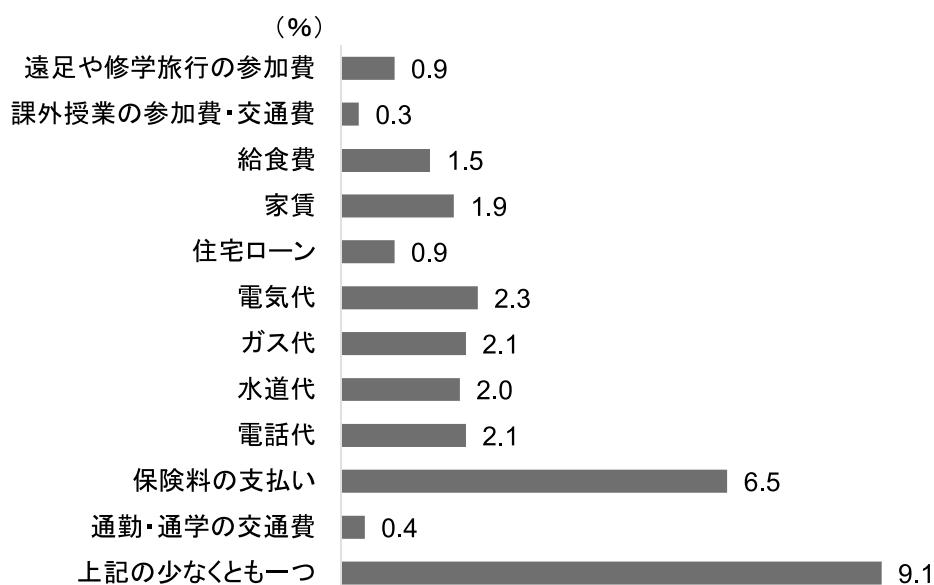
① 生活必需品の非所有 【問13(3)】

経済的理由で、子どもを育てるうえで必要と考えられる生活必需品を所有していないものが「どれかひとつでもある」と回答した世帯は、約16%です。



② ライフラインの支払い困難経験 【問13(4)】

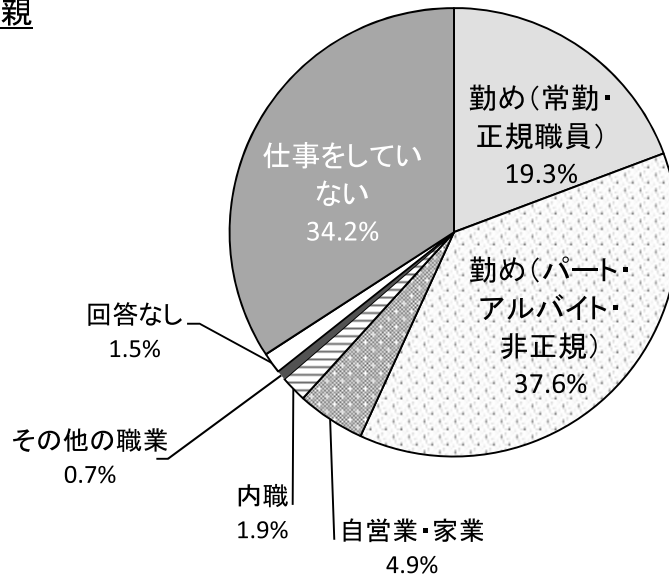
ライフライン等の支払い困難経験が「少なくとも一つはある」と答えた世帯は、約9%です。



③ 母親の就業状況 【問14】

仕事をしている母親は約64%です。仕事をしていない母親は約34%で、そのうち仕事を探している母親は約18%（全体の6%）です。

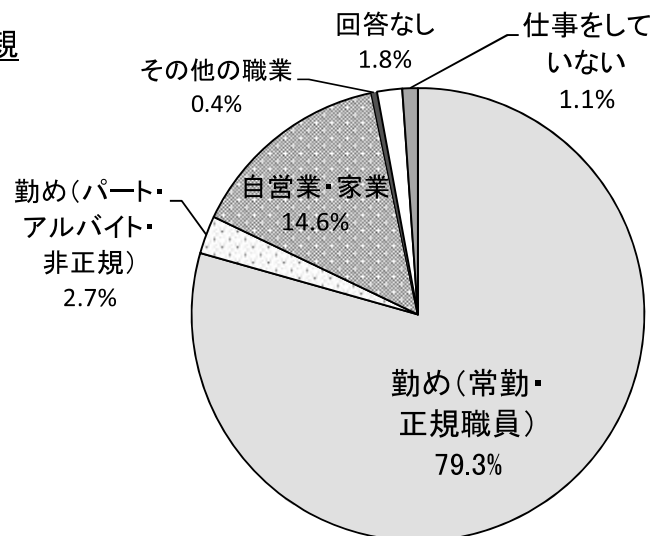
母親



④ 父親の就業状況 【問14】

仕事をしている父親は約97%です。そのうち、パート・アルバイト・非正規で働く父親は約3%です。

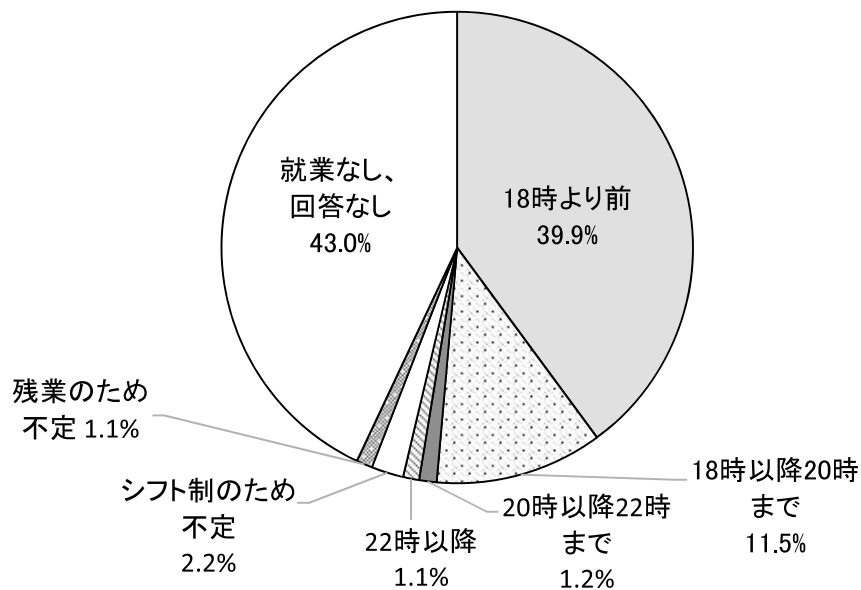
父親



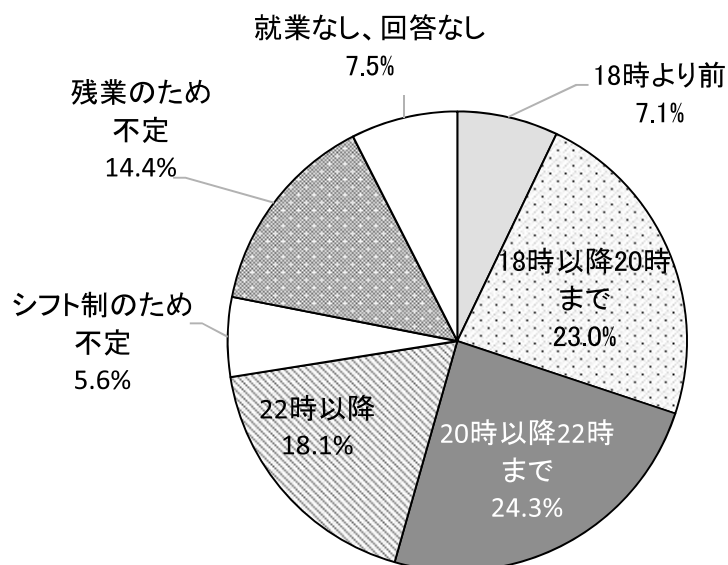
⑤ 父母の帰宅時間〔本格調査のみ〕 【問14(イ)】

母親

18時より前に帰宅する母親は約40%、20時以降になる母親は約2%です。

父親

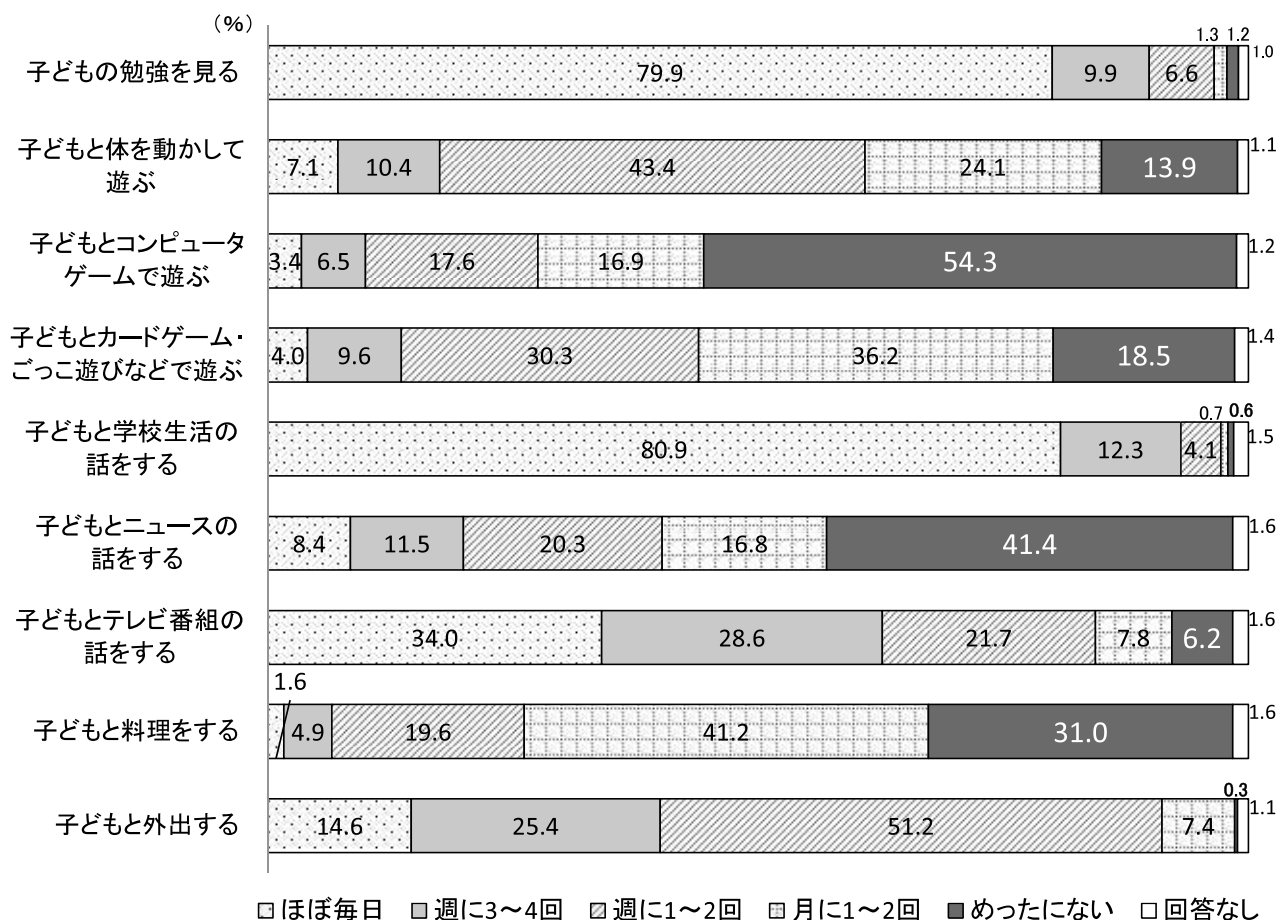
18時より前に帰宅する父親は約7%、20時以降22時までに帰宅する父親は約24%です。また、残業のため帰宅時間が決まっていない父親は約14%です。



8 保護者の子どもへの関わりについて

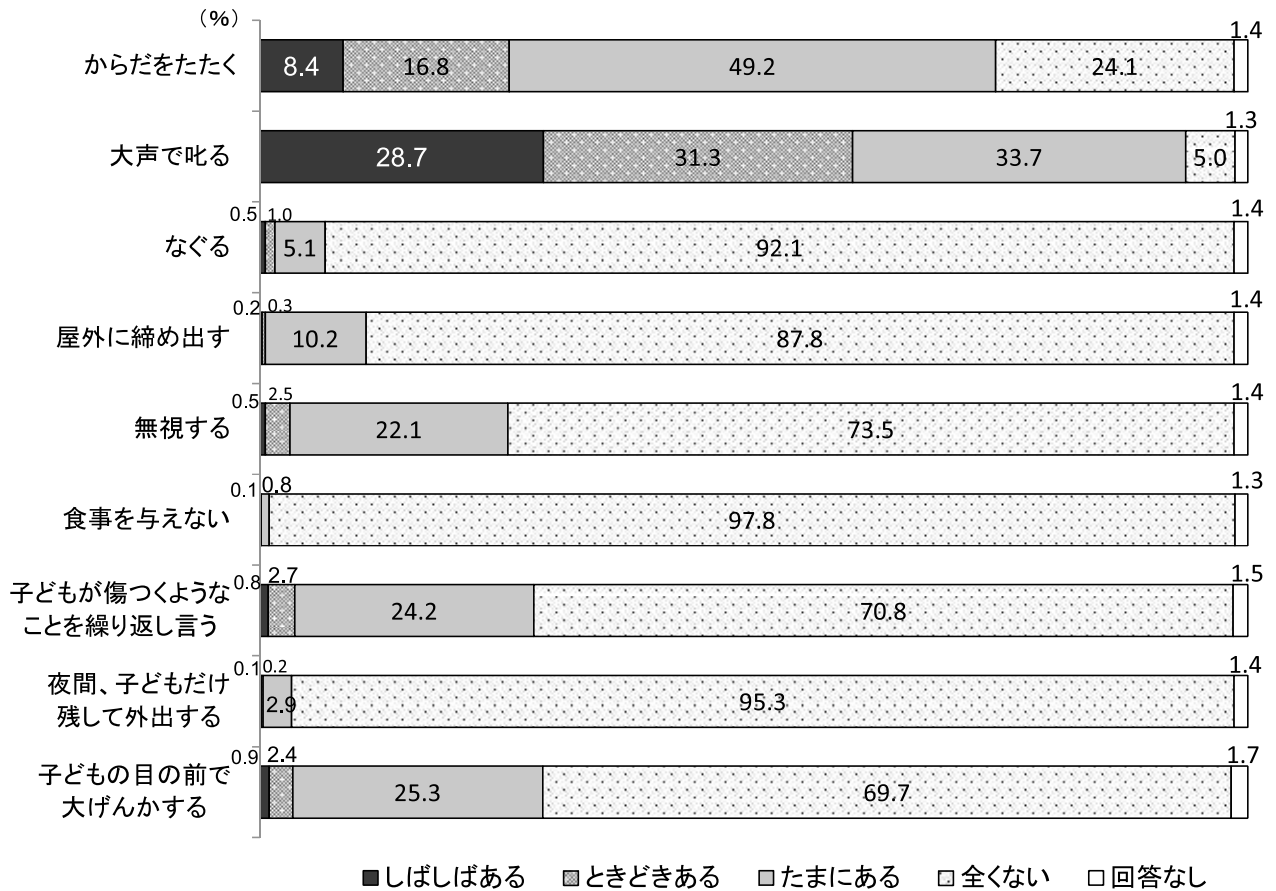
① 子どもとの関わり（その1） 【問15(1)】

子どもとの関わりの中で、ほぼ毎日「子どもの勉強を見る」世帯は約80%です。「子どもとニュースの話をする」ことがめったにない世帯は、約41%です。



② 子どもとの関わり（その2） 【問15(2)】

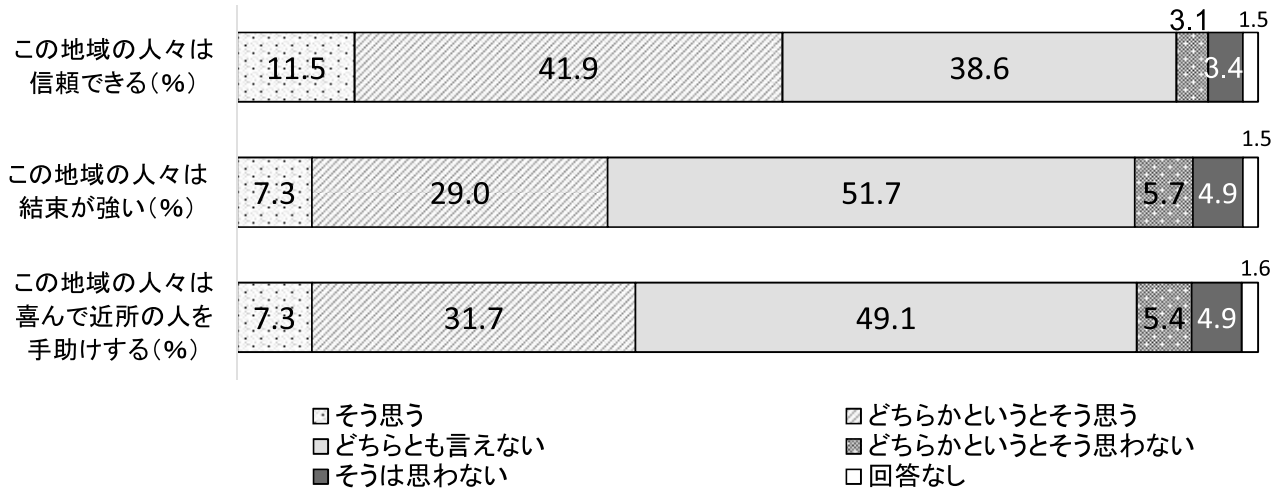
「大声で叱る」ことが、しばしばある及びときどきある保護者は60%です。「夜間、子どもだけ残して外出する」ことがある保護者は約3%です。



9 保護者と地域とのつながりについて

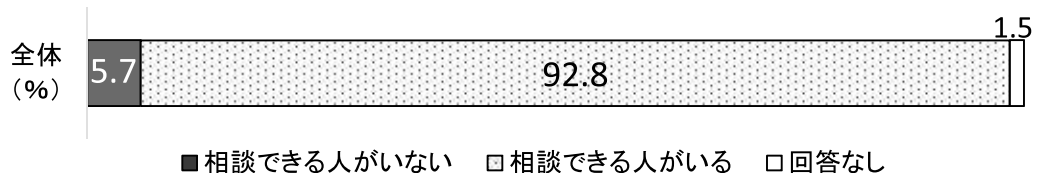
① 地域とのつながり 【問16(3)】

地域（同じ町内会くらいの範囲）の人々を信頼できると回答した保護者は、約53%です。この地域の人々は結束が強いと回答した保護者は約36%です。



② 相談相手の有無 【問16(5)】

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいない保護者は約6%です。



③ 相談相手 【問16(5)(ア)】

困ったときの相談相手は、配偶者・パートナーが約70%、次いで自分の親が64%、近隣に住む知人や友人が約40%です。また、民間のカウンセラー・電話相談を選んだ人は最も少なく約1%です。

